

# 多文化共生社会における「当事者視点の支援」の再考

～「在日外国人家庭における未就学児多言語教育ワークショップふりかえりより～」

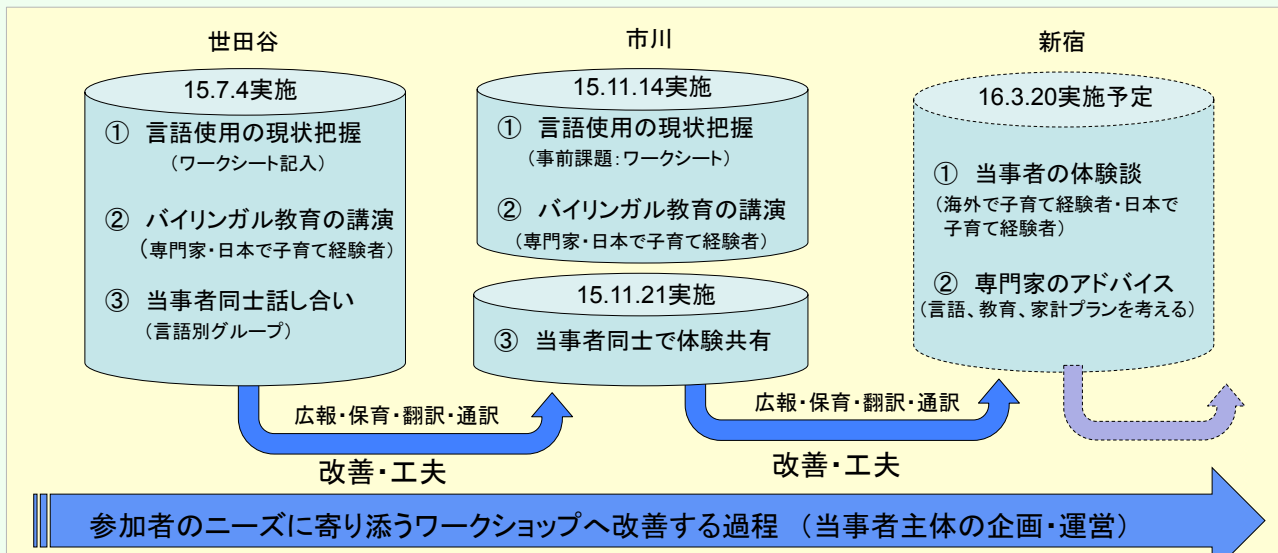
徳永あかね（神田外語大学）・吉田千春（明治大学大学院／イクリスせたがや）・ゴロウィナ クセーニヤ（東京大学／イクリスせたがや）・菊地真弓（イクリスいちかわ）・安藤陽子（イクリスしんじゅく）

## 背景

- ★在日外国人・・・来日背景、年代、家族形態、将来の生活設計も多様
- ★日本人・・・海外で妊娠・出産・子育てをする可能性増
- ★国際結婚の増加 ★居住地域が離れていてもネットで繋がることのできる



## 実施とふりかえり



当事者企画・参加型の学習の場・情報交換の場が「今、考えるべきこと」を意識化し、可視化されることで家族と話し合い、自分で決める機会となる。

**自分たちに必要なイベントを企画、運営、参加する過程が重要！（参加するだけでは考える機会が単発）**

## 当事者視点による企画・運営に向けての課題

